

# 家庭教育力の強化を図ろう

～ 学びを楽しむ驚っ子の育成 家庭・学校の連携による家庭教育力の強化 ～

碧南市立驚塚小学校 P T A

## 1 学区及び学校の概要

本校は、碧南市の北東の端に位置し、東は矢作川を挟んで西尾市に接している。北は県下最大の天然湖沼である油ヶ淵に面し、安城市と境をなす。以前は農地が多かったが、現在は急速に宅地化が進んでいる。日系の外国人が多く居住し、外国人子女は毎年50人前後在籍する。校内には樹齢百年を超える楠の大木をはじめ多くの樹木があり、緑に囲まれている。FBC活動も盛んで、数々の表彰を受けてきた。四季を通じて花が咲き、自然の中で子どもたちはいきいきと活動している。平成18年に発足したスクールガードによる一年生付き添い下校の活動は、平成27年には学校安全ボランティア活動として文部科学大臣奨励賞を受賞し、現在も15名で継続している。児童は常に地域に見守られている。

## 2 研究のねらい

「強く正しく 明るく素直に 進んで学び 楽しんで働く」の校訓のもと、「規律正しい子どもの育成」「自ら学ぶ子どもの育成」「友達も自分も大切にすることの育成」を教育目標として掲げ、学校と家庭、地域が連携しながら人間性豊かな児童を育てることを目指している。P T Aとしてもこの教育目標の達成を目指しさまざまな活動を展開する。P T A活動を通して子どもの健康やかな成長を思う心を保護者の間に高め、家庭の教育力強化を図りたい。

## 3 研究の仮説

P T A活動を通して児童が保護者や地域の方々とふれ合い、ともに活動できる場を設定することで、教育目標を具現化できるであろう。保護者や地域の方々が活動に参加・協力することは、学校が安心して学ぶ場所であり続けるためにも有効であると考えている。

## 4 研究の方法

- (1) P T Aによる見守り活動を進めるとともに、保護者や地域の方とふれ合う活動を推進する。
- (2) P T A実行委員は「文化教養」「教護福祉」「保健体育」「環境整備」「家庭教育研修」のいずれかに属し、担当する活動を工夫して実施する。

## 5 研究の実践

### (1) F B C活動

F B C活動は、児童・P T A・保護者の参加により取り組んでいる活動である。児童園芸委員会が種まきを行い、その後P T A環境整備委員で苗をポットに植える仮植作業を実施している。花壇のデザインは児童園芸委員会が全校児童から募集した図案をもとに決定している。6月27日(土)学区内3か所にある地区花壇に苗を植える「定植」を実施し



た。当日はこれまでに培ってきた美しい花壇に仕上げるためのポイントを委員長が伝え、「肥料を3粒」「真ん中あるいは後ろを高くするよう苗を植える」等、細かな注意点を意識しながら熱心に定植の活動に取り組む姿が見られた。他にも地域花壇の夏場の水かけを全実行委員で行ったり、花芽摘みをして一斉に花を咲かせる工夫なども行ったりした。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度のFBC秋花壇審査会は実施が見送られてしまったが、今年も色とりどりの花が咲く花壇を楽しむことができた。多くのクラスが校内のメイン花壇の前で記念撮影をして、思い出を残す姿が見られた。また、地区でお世話になっている方へ、花苗を植えたプランターをプレゼントした。

## (2) 資源回収

例年5月と9月の年2回資源回収を6年生とPTA実行委員で実施しているが、本年度は5月を中止し、9月はPTA実行委員のみで実施した。6年生児童は今できる関わりを考え、資源回収が始まる前の短い時間で保管されている資源を倉庫から運動場に出す作業を自主的に行った。例年どおりのことはできなくても、児童、PTAそれぞれが今できることを考えて参加する姿が印象的だった。

## (3) 給食試食会・親子講座「肉まんづくり」

昨年度は家庭教育研修委員会で親子実技講座として「肉まんづくり」と、「給食試食会」を実施した。親子で参加できるようにするため休日開催とした。給食試食会では、先に給食センターの見学会を行った。大きな釜やしゃもじを使い煮る様子には、驚きの声が上がっていた。その後給食を試食し、日頃子どもたちがどのような給食を食べているか味わった。親子で共通の話題をもつよい機会となった。



## (4) 街頭交通指導・手指消毒

「0」のつく日の街頭交通指導では、1・3年保護者へ参加協力を依頼した。子どもたちの登校の様子を見守っていただき、気づいたことのメモを提出してもらうことで挨拶の様子や問題点などを捉えることができた。また、6月から全員の登校が始まった時には、PTA有志により、昇降口での手指消毒への協力を行った。PTAや保護者によるこうした見守りにより、安心・安全な学校生活を実現できた。



## 6 研究の考察

保護者が地域とともに特色ある学校行事を支え、楽しんでPTA活動に取り組む姿を示し続けることは、子どもたちの健全な成長に欠かせない道徳心や感謝の気持ちなどを育む貴重な経験になった。

## 7 成果と今後の課題

PTA活動により、保護者が役割と責任を果たす姿を示すことの大切さを確認できた。今後も活動を継続し、学校と家庭、地域との連携を密にすることで家庭教育力の強化を図っていきたい。